

2016年度 NPO 法人大雪山自然学校 事業報告書

◆環境保全事業

① 自然保護対策事業

東川町大雪山国立公園保護協会の委託業務として、5/15～11/15 に旭岳自然保護監視員 8 名が活動しました。姿見園地では 30 か所以上の登山道を補修しました。新たな業務が発生してもスタッフが協力しあい無理なく実施できるマネジメント体制が整ってきました。協力金は 2015 年 982,499 円から 877,300 円に減りました。

② 東川町青少年野営場管理事業

東川町の委託業務として 6/10～9/30 の期間で野営場の管理を行いました。安全で清潔で心地よい空間を整えることを目標とし、クレームや問題に対して迅速に対応しました。

③ 外来種除去活動

北海道ウチダザリガニネットワークからの委託業務で、全道各地で活動する団体リストを整理することと、普及啓発グッズ（ファイル）や標本作成を行いました。

④ キトウシの森づくり事業

ニセウの森づくり運営委員会との協働事業で毎月「月に一度は森づくり」イベントを行いました。当団体は、当日の運営を担当し、様々な年代が森づくりに関われるプログラムを準備し、人間が森で楽しく活動した結果森が整備される仕掛けを作ることができました。

◆子供自然体験活動事業

① イエティくらぶ東川校（主催月例）

小学生を対象とした自然体験プログラムを年間 9 回実施しました。東川町、旭川市、美瑛町、上富良野町からのべ 65 人が参加しました。旭川教育大学の実習も受け入れており、人材育成プログラムとしても機能している自然体験活動です。

② オーダーメイド自然体験プログラム（受託：修学旅行、幼稚園遠足プログラム等）

大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎の学生 73 名の研修旅行。旭岳姿見の池トレッキングの他、キトウシでの森づくりプログラムなど地域の環境保全に携わる活動を実施しました。

③ ひがしかわ水育事業

東川町教育委員会が主催し東川の水源である旭岳から田んぼまでをたどるプログラムを年間 3 回実施しました。学校の調べ学習で活用できる冊子「水育ブック」も作成しました。

④ キトウシ森のようちえん

火曜日から金曜日までの週 4 日定期的にキトウシ森のようちえんが実施されるようになりました。11 月に開催の森のようちえん全国交流フォーラムを機に、鷹栖や中富良野の森のようちえんとつながりネットワークとしての活動展開を始めています。

◆地域に根差した交流推進事業（ツーリズム）

① 道新文化センター

道新文化センターで「旭岳高山植物ウォッチング」講座を実施しました。内容は2カ月間に3回旭岳に通いその時の自然を学ぶものであり、参加者は前期も後期も各21名でした。地元住民が旭岳に複数回来るプログラムが定着してきました。

② 主催ツアー（日帰りアウトバウンド）

旭川集合解散でその周辺の特徴ある自然を訪ねるエコツアーを実施しました。（8/16 浮島湿原7名、9/20 高原温泉9名）ツアー数も参加者数も少ないが、今後の活動を一緒に考える支援者となるグループなので、大切に育てていきたい事業です。

③ お仕事体験ツアー

企業のCSR活動として、旭岳自然保護監視員活動を体験するツアーを実施しました。2016年度は北洋銀行職員組合様1団体20名だけ参加だが、企業と連携しながら新しい支援者につながる機会となるので大切に育てていきたい事業です。

④ キトウシ森林療法プログラム

東川町保健福祉課と東川振興公社と連携し毎月1回町民向けに森林ウォークを行いました。参加者が10名に満たないこともありましたが、健康推進が必要な方が参加しやすい形を整えることが課題です。

◆人材育成事業

① ボランティアやインターンの受入（主催：自然環境保全、エコツアー事業と運動）

フランス人の大学生や北海道教育大学旭川校、ezorockから、子ども自然体験プログラムや旭岳での環境保全活動に日帰りから最長で4か月のインターンを受け入れました。

② NEAL リーダー養成講座の実施

温根湯、北見市、羽幌町、石狩市、東川町でNEALリーダー養成講座を実施し、合計57名のNEALリーダーを養成しました。

◆その他

① サステイナブルツーリズム国際認証の導入にむけて

GSTC(Global Sustainable Tourism Council)が認定する、持続可能な観光のための国際認証を日本に導入するプロジェクトにNPO法人日本エコツーリズムセンターとして荒井が参画し、日本のエコツーリズムが、特に北海道の観光地が世界に通用する水準となるようにしていきたい。また、東川エコツーリズム推進協議会では、エコツーリズム推進法（環境省）に基づく「エコツーリズム推進全体構想」の作成を進めているので、その全体構想を世界基準にあうようにしていく。

② 地域おこし協力隊による事業づくり

東川町地域おこし協力隊小沼秀樹が旭岳の保全活動担当として、浜裕介と斉藤竜太が馬の担当として着任し、大雪山自然学校に派遣されている。小沼隊員は旭岳の環境保全活動をテーマにした人材育成事業を起こす。浜隊員と斉藤隊員はどさんこの力を活かして児童発達支援事業を起こすことが目標です。

③ 森のようちえん全国交流フォーラム in 北海道

大雪山自然学校では事務局として運営に携わりました。フォーラムを機に北海道型「森のようちえ

ん」のこれからを考える会（仮称）への参加や道北地域の森のようちえんとのネットワークを築いています。

④ 特例認定 NPO 法人の申請

今後寄付を受ける団体となるための認定 NPO 法人取得に向け、設立後 5 年以内の法人に認められる特例認定 NPO 法人の申請を行いました。今後審査の予定。